

GPA制度（成績評価方法）

1. GPA制度とは

GPA（Grade Point Average）制度は、主に米国の大学で実施されている成績評価方法であり、学生の履修科目の成績評価を点数化し、それらの平均で評価基準を与える制度です。現在、日本でも多くの大学でこの制度が導入されています。

本学では、2025年度からGPA制度を導入しました。学期末に学生に送付される『成績評価表』には、従来の成績評価と同時に各自のGPA値も表記されます。

2. GPA制度の目的

（1）学生の学習意欲の向上

GPA制度の主目的は、学修結果を自ら客観的に判定するための一つの明確な基準を学生に与え、学習意欲を主体的に高めてもらうことです。GPAにより、全体の学修到達度や今後の努力目標・学修計画なども明確になります。

（2）学校の適切な個別指導

従来の「優・良・可・不可」などの評価よりもGPAによる評価では、成績不振の学生、あるいは成績が向上した学生を早期に発見でき、学生一人ひとりに、より適切なアドバイスや履修指導が可能になります。ただし、GPAはあくまでも1つの指標（目安）であり、GPAのみで学生が評価・判断されることはありません。

（3）教育の国際化に対応

GPAは教育の国際化に対応した制度であり、学外に対しても、より明確な評価基準を与えるものです。特に、学生が外国に留学・就職する際に、GPAが要求される場合があります。

3. GPAの算出方法

GPAの算出方法は学校ごとに多少異なりますが、本学の場合は、以下のように算出します。

（1）通常の成績評価を、次のように点数（GP：Grade Point）に置き換えます。

	評点段階	成績評価	GP
合格	100点～90点	S（優）	4
	89点～80点	A（優）	3
	79点～70点	B（良）	2
	69点～60点	C（可）	1
不合格	59点以下	D（不可）	0
除外		認	—

（2）成績評価表には、学期ごとのGPA値、累計GPA値が表記されます。その算出方法は、次の通りです。計算値は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで表示されます。なお、選択科目の未履修および単位互換等による単位認定科目はGPAの計算から除外します。

$$\text{GPA値} = \frac{(\text{授業科目の単位数} \times \text{授業科目のGP}) \text{の合計}}{\text{授業科目の単位数の合計}}$$

※計算式における「授業科目」の意味

○学期ごとのGPA値・・・当該学期に評価を受けたすべての授業科目

○累計GPA値・・・・・・入学時から当該学期までに評価を受けたすべての授業科目

4. GPA値の算出例

次は、GPA値の算出例です。科目1～科目5の5科目に対して以下のような評価を受けた場合、各科目のGPが確定し、GPAが算出されます。

科目名	単位数	評 点	成績評価	G P	単位数×GP
科目1	2	75	B	2	4
科目2	1	85	A	3	3
科目3	2	65	C	1	2
科目4	2	95	S	4	8
科目5	1	50	D	0	0
合 計	8				17

※ 5科目のGPA値 = $17/8 = 2.13$

5. 成績評価表におけるGPA値の表記

- 成績評価表には成績評価とGPA値が表記されます。
- 成績表の【GPA欄】において、「GPA値」の値は、学期ごとのGPA値です。「累計GPA値」の値は、入学時から当該学期までの全体のGPA値です。S～Dの列の値は、当該学期における成績評価S～Dの取得数です。（****）（**）には、実際の数値が表記されます。

【GPA欄】

年 度	時 期	GPA値	累計GPA値	S	A	B	C	D
2023	前 期	****	****	**	**	**	**	**
2023	後 期	****	****	**	**	**	**	**
2024	前 期	****	****	**	**	**	**	**
2024	後 期	****	****	**	**	**	**	**

※ 2023年度入学生の2024年度後期までのGPA値およびS～Dの取得数

6. GPAに関する注意

「D評価」のGPは0に換算されます。GPが0の科目が1科目でもあると、GPA値はかなり下がります。出席時間数が総授業時間数の3分の2以上にならない場合は、受験資格が得られず「D評価」になります。

選択科目の履修登録後に授業の受講を取り止める場合は、必ず登録抹消の手続きをしてください。手続きせずに無断で欠席していると、「D評価」になります。